

軽防協ニュース速報 号外

2003年11月26日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

フランスにおけるウエストナイルウイルス感染症の発生について

(10月31日現在の情報)

2003年10月6日に、ヒトのウエストナイルウイルス感染による髄膜脳炎例1例が、パスツール研究所のアルボウイルス国立委託研究所により報告された。この患者は Var 地区の居住者であった。10月9日には、馬の感染例1例が、フランス食品安全局 (AFSSA) により報告された。この馬は Var 地区内の別の場所に繋養されていた。10月17日にも、ヒトおよび馬の感染例が、パスツール研究所により報告された。これを受け、Camargue 地方、Corsica 島、および地中海周辺地域 (Pyrénées Orientales, Aude, Alpes de Haute Provence, Alpes Maritimes) におけるサーベイランスが強化された。その内容は以下の通り。

- これらの地域の病院で確認されなかった髄膜炎および髄膜脳炎例の調査
- 蚊による感染の危険性の評価 一秋には蚊の活動は終息する一
- Var 地区内におけるウエストナイルウイルスの馬への伝播経路の調査

ヒトの調査結果

調査により、確定例8例と可能性例1例が確認された。これらの患者は Var 地区東部に居住しており、8月の最終週に感染の兆候が認められた。7人の患者中3人に神経症状が認められ、他の4人にはインフルエンザ様の症状が認められた。これらの患者は病院に収容され、完全に回復した後、退院が許可された。最初に症状が認められた8月28日以降は、Var 地区および地中海周辺地域では、新たな患者は確認されていない。

馬の調査結果

サーベイランスの結果、10月31日に Var 地区西部の馬で、確定例3例と可能性例1例が確認された。これらの4頭では9月に感染の兆候が認められたが、1頭だけ他の馬とは異なる症状を示した。Var 地区では1,000頭規模の調査が継続中である。

蚊の調査

ヒトと馬の感染例が確認された地域で、蚊の調査が実施された。数匹の蚊が捕獲されたが、PCRの結果は全て陰性であった。

結論

2003年8月から9月にかけての調査の結果、Var 地区におけるウエストナイルウイルスの活動が確認された。秋にかけての気候および蚊の個体数の減少を考慮すれば、ウイルス感染の可能性は日を追って減少している。

(International Collating Centre の情報より)